

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます

1班

▼防災センター(水防災監視システム機器整備事業)
水防災監視システムは、神田川外水氾濫等に備え、常時監視測定が行えることを確認した。発災時に備えた運用及び災害対策本部と連携した訓練等を要望する。



▼お茶の水公園(公園再整備工事)
休憩場所の新設等、地元住民の声が反映された整備であることを確認した。女性用トイレの需要が高いため、今後の公園再整備ではこの点に配慮するよう望む。



3班

決算審査特別委員会視察

10月12日

令和2年度事業のうち6事業を選定し、3班編成で現場視察を行いました。

- 視察報告はホームページでご覧いただけます。
- 決算審査概要と各会派の意見(要旨)は2面に掲載しています。



▲西片公園(公園再整備工事)
住民と協議を重ね、利用者ニーズを反映した整備は、公園再整備の好事例であると評価する。今後、住民と区の緊密な連携による適切な公園管理を望む。



▲教育センター(総合相談窓口)
各種相談に対応する相談室に加え、理学療法室、遊具等を整備していることを確認した。今後は療育現場にタブレットを配備し、支援の仕方を工夫することなどを要望する。



▲テnderラビング保育園 関口(医療的ケア児の受入れ)
バリアフリー構造であることや、他の園児と共に遊んで過ごす環境が整備されていることを確認した。今後、この体制が医療的ケア児の就学につながることを要望する。



▲根津小学校(災害用備蓄物資整備)
感染症対策としてのパーティション等、社会変化に対応した整備を確認した。今後、追加した備蓄物資の活用訓練等を避難所運営協議会へ働き掛けることを望む。

2班

9月定例議会では、決算審査特別委員会を設置し、令和2年度一般会計を始める4決算報告を認定したほか、条例改正、令和3年度文京区一般会計補正予算など区長提出の合計19議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
また、議員提出の意見書2件を可決しました。
なお、審議した主な案件や、議案に対する議決結果と各会派の賛否を2面に掲載しています。

令和2年度決算を認定

9月定例議会

議会期間 9月3日から10月14日までの42日間
本会議第1日(9月3日)
*区長提出の14議案及び請願10件の審査を、それぞれ所管委員会に付託しました。
*19人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、区長提出の4決算報告の審査を付託しました。

▼区長提出案件
条例……………5件(可決)
事件……………6件(可決)
予算……………4件(可決、表1)
決算……………4件(認定、表2)
議員提出案件
意見書……………2件(可決)
▼請願……………12件
[12件の内訳は、今定例議会付託分10件、継続審査分2件]
議員提出案件
可決した意見書 2件
◎選択的夫婦別姓制度の法制化に関する議論を求める意見書
内閣総理大臣、法務大臣、

審議した案件

本会議第2日(9月7日)
*代表質問(公明党、市民の広場、創……………3面掲載)
本会議第3日(9月8日)
*代表質問(自民党・無……………日
本共産党、自民党・無……………
……………3面掲載)
本会議第4日(9月9日)
*代表質問(日本共産党、自民党・無……………3面掲載)
9月10日~9月28日
*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。……………(4面掲載)
本会議第5日(9月30日)
*区長提出の14議案を、付託委員会の決定どおり可決しました。
*区長提出の追加1議案の審査を建設委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。
10月1日~10月12日
*決算審査特別委員会で4決算報告を審査しました。……………(下記表2及び2面掲載)
本会議第6日(10月14日)
*議員提出の意見書2件を可決しました。
*区長提出の4決算報告を、決算審査特別委員会の決定どおり認定しました。

請願

衆議院議長、参議院議長宛て
◎ヤングケアラー支援の体制強化を求める意見書
内閣総理大臣、総務大臣、文科科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長宛て
◇は継続審査分()は付託委員会不採択となったもの
◇最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願
2項(総務区民)
○場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願
○消費税率5%への引き下げを求める請願(総務区民)
○「文京区都市マスタープラン」の見直しに併せ、新型コロナウイルス危機を契機とした新しい都市計画の方向性も盛り込みつつ、文京区としての「まちづくり」を定義付けた上で、総合的で一貫性のある整備のあり方を目指す「文の京」まちづくり基本条例(仮称)の制定を求める請願(建設)
○区の主なまちづくり関連の条例等において「文京区都市マスタープランの趣旨に整合するよう努めること」と明記することを求める請願(建設)
○「中高層条例」と「ワンルームマンション条例」において、「説明会」の開催や終了に関する規定を事業者に

審議した主な案件(要旨)

区長提出案件
9月定例議会
◎令和3年度文京区一般会計補正予算
商店街振興対策事業に要する経費、新型コロナウイルス対策区内店舗支援事業に要する経費、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業に要する経費、新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費、文京区子育て世帯応援事業に要する経費などの予算を追加するものです。
※全ての議案は、2面に掲載しています。

【表2】 令和2年度決算 (単位:円)

会計別	歳入総額	歳出総額
一般会計	143,183,873,953	132,407,904,800
国民健康保険特別会計	19,408,050,058	18,600,995,467
介護保険特別会計	16,030,689,724	15,754,902,266
後期高齢者医療特別会計	5,315,415,157	5,181,018,156
合計	183,938,028,892	171,944,820,689

【表1】 令和3年度補正予算 (単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第2回)	110,240,854	11,258,224	121,499,078
国民健康保険特別会計(第1回)	18,643,000	911,131	19,554,131
介護保険特別会計(第1回)	16,912,000	331,560	17,243,560
後期高齢者医療特別会計(第1回)	5,322,000	141,321	5,463,321
合計	151,117,854	12,642,236	163,760,090

とって分かりやすく、区民にとって理解しやすく、区にとって指導しやすく、区民のよう改めたり、それらの目的を実現しやすくするための「手引書」等を整えたりすることを求める請願(建設)
(2面につづく)

決算審査特別委員会報告(要旨)

9月3日の本会議で、19人の委員をもって設置した決算審査特別委員会では、委員長に国府田久美子委員(日本共産党)、副委員長に吉村美紀委員(自民党・無)を選出し、10月1日から10月12日までの7日間にわたり決算報告を審査しました。

○総括質疑

問 令和2年度決算における実質収支額について伺う。

答 歳入が予算現額に対して約21億円上振れした一方、歳出は、補正予算により対応した、感染症対策及び経済対策に係る事業の不用額が約14億円生じたほか、緊急事態宣言等に伴う各事業の休止や縮小等の影響で、予算執行額が減少したことにより、翌年度繰越額を除いた不用額が約54億円となった。

これまでも、毎年度2月の補正予算において、国や都の各種交付金の情報収集・分析により財源の更正を行うとともに、事務事業の執行状況に応じた減額補正を行うなど、決算を見据えた編成を行っている。今後も、より一層の精緻な分析を進め、執行率の低い事業を抽出し、見直しを見直すなど、実質収支改善のための取組を進めていく。

○一般会計―歳入(意見・要望)

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、感染症対策や経済活動の下支えなどに有効に活用されている。今後の交付金の動向を注視し、安定的な財源の確保に努めること。

○一般会計―歳出(意見・要望)

①男女平等参画関係経費について、令和2年8月に開始したSNSによる相談事業には、DV等の相談が125件寄せられた。今後も関係部署との連携

決算に対する各会派の意見(要旨)

自民党・無

年度当初から新型コロナウイルスが拡大し、様々な事業が中止・延期を余儀なくされた。大きな社会環境変化に迅速に対応し、国や都の交付金・補助金を適切に活用しながら、区民の生命を守る感染症対策と、厳しい影響を受けた地域経済の下支えを行う施策を的確に

市民の広場

コロナ禍での健康を守る施策、情報提供、困難を抱える人への寄り添う支援、感染の危機管理を検証すること。居住確保施策、就業支援、医師会との協力体制を強めること。補助金の見直し、福祉避難所への直接避難、認知症事業の推進を求める。一般、国保、介護保険会計は認定し、後期高齢者医療会計は認定しない。

文京みらい

次期予算編成に以下3点を求め、国保は不認定、他3会計は認定。過去20年来の縦割り行政と所管の連携不良を解決し、断らない相談支援体制を。複雑・複合化する生活課題を全庁的に支援する利用者視点の行政サービスを。多様性を増す行政需要に対応し、区民の満足度と生活の質を高める持続可能なまちづくりを。

創

区民の困窮に寄り添う課題解決支援、災害備蓄物資整理、東京ドームでの成人式、地球温暖化対策、コロナフレイルと認知症進行抑制・早期発見医療的ケア児保育拡充、孤立・孤独対策・自殺対策・ひきこもり支援、ヤングケアラー支援、未熟児保護者支援、子どもの視力低下予防等をさらに求め、4会計決算を認定する。

永久の会

日本経済は令和2年5月で景気の底を打ち、回復する過程である。その追い風を文京区もしっかりと受け止め、大きく発展しなければならぬ。今後の大胆な施策展開に大いに期待する。

公明党

令和2年度は、国・都と連携をとり、新型コロナウイルス感染症対策と緊急経済対策など、区民の生命と生活を守る取組を実施したことを評価する。引き続き、区民の健康と暮らしを守り、主要課題の解決のため、効果的かつ効果的な財政運営を図られるよう要望する。公明党文京区議団は2年度の

請願

(1面のつづき) 地域の区民が自主的に策定した「まちづくり憲章」や「まちづくり協定」等を、区として認定・登録する仕組みを整えるなど、区民の自発的・主体的な「まちづくり」の機運が途切れること

となく醸成を促すとともに、きめ細かく後押しする仕組みを求める請願 (建設) ○「文京区公園再整備基本計画」に基づく公園再整備についての「意見交換会」を「まん延防止等重点措置」の適用期間中は開催せず、オンラインや動画配信などを通じて意見交換を進める

ことを求める請願 (建設) ○「通学路の合同点検」実施と併せ、歩道のない区道において区が白い実線をペイントする際の要綱・要領・基準等といった手続的根拠を整えることを求める請願 (建設) ◇東京独自の少人数学級の実現を求める請願

2項(文教) ○「グリホサート農薬」の入手していない安心安全な学校給食の提供を求める請願 (文教) ○少人数学級の実現を求める請願 (文教)

令和3年9月定例議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

Table with columns for committee, case name, and voting results for various parties (自, 共, 公, 市, み, 創, 永, 子). Includes sections for '区長提出議案', '議員提出議案', and '意見書'.

会派の略称：自…自由民主党・無所属 文京区議団、共…日本共産党文京区議会議員団、公…公明党文京区議団、市…市民の広場・文京、み…文京みらい、創…創[sow]、永…文京永久の会、子…ぶんぎょう子育てネット

右記のQRコードから各ホームページをご覧いただけます。

インターネット議会中継

一般質問の生中継のほか、録画中継が視聴できます。(録画中継公開後7日程度で字幕付き映像視聴可能)

議案の審議結果

請願の審議結果



代表質問 (要旨)



公明党 岡崎 義顕

新型コロナウイルスの若い世代への接種促進を

問 新型コロナウイルス感染症の急拡大に対して、若い世代へのワクチン接種促進並びに普及啓発の取組が重要である

と考えるが、区の見解を伺う。 区長 東京ドームなど訴求力のある会場での接種実施や、SNSでのワクチンの有効性等の情報発信などにより、引き続き若い世代への接種勧奨及び普及啓発を行っていく。

歩きスマホ禁止条例の制定について

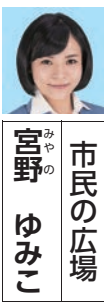
問 区民からも度々、「対策を講じて欲しい」と要望を受けている歩きスマホの対策として、その危険性を周知徹底するとともに、歩きスマホ禁止条例の制定を提案する。 区長 関係機関と協力し、交通安全意識啓発の中で歩きスマホの危険性について周知徹底を図る。歩きスマホ禁止条例については、国、都及び他区の動向を注視し、研究する。



家庭での生ごみ処理機助成金制度の導入を

問 脱炭素社会に向け、区民の機運を醸成し、連帯感を育むことが重要であり、その一つとして、家庭での生ごみ処理機助成金制度は非常に有効と考えるが、区の見解を伺う。

区長 生ごみの削減は、二酸化炭素発生抑制につながるため、引き続き水切り行動の推奨等の普及啓発に努めるとともに、提案の制度を含め、効果的な取組を検討する。



市民の広場 宮野 ゆみこ

関口1丁目地区の都市ガス供給障害について

問 今回の事故を踏まえ、東京都水道局やガス事業者に対し速やかに配管の老朽化調査と入替工事を求め、事故の再発防止を強く働き掛けるべきと考えるが、区の姿勢を伺う。 区長 本件については、事故原因等の調査終了後に、再発防止策、今後のガス管や水道管の更新予定、住民への周知等について、改めて関係企業等と協議を行う。



新型コロナウイルスと子どもの心身の育成支援について

問 マスク着用の常態化による子どもの発語習得、感情表現、社会性の発達等への影響を、区は健診等で把握しているか。現在の社会背景を踏まえ具体的な対策を講じるべき。 区長 ことばの発達が気になるとの医師の所見が見受けられる。また、親子で交流できる機会減少の相違等が増えている。関係部署で情報共有し、適宜対応している。

質問の掲載は、本会議での質問会派順です。

ご遺族の方に寄り添う行政運営を

問 死別されたご遺族の方へのグリーフケアの観点から、一度の来所で死別時に必要な手続きが全て行える専門窓口を設置し、遺族の方に寄り添う行政運営を求めます。 区長 ご遺族に寄り添い、援助するグリーフケアの重要性は認識しているが、専門窓口については設置場所の確保や人員配置、運営方法等の課題があるため、今後研究する。



創 上田 ゆきえ

文の京子ども弁当で子育て・飲食店支援を

問 新たに仮称「文の京子ども弁当」を広く区内飲食店で考案し、それを子どもがいる家庭や育成室等に安価で販売できる仕組み等をつくること。子育て支援と飲食店支援を両立させる事業を提案する。 区長 コロナ禍の影響を受けている区内商店の利用促進を図りつつ、様々な行政課題を解決する手法については、今後も文京区商店街連合会と連携し、検討していく。

全世代一人1スポーツの推奨で運動習慣化支援を

問 区民の健康づくりのため一人1スポーツを推奨し、区の健康プログラム参加者の民間スポーツジム利用補助等により、運動習慣を支援する事業を提案する。 区長 これまでも区内のスポーツ団体等と連携し各種事業を行ってきたが、引き続き

区民一人一人がスポーツに親しめるよう、様々な主体と連携し幅広い施策を展開していく。 神田川桜並木の飯田橋・御茶ノ水方向への延伸を

問 かつて、大曲辺りは桜の名所だったが、現在は江戸川橋より下流には桜並木がない。往時の桜の名所の復興をめざし、一本ずつでも、御茶ノ水・飯田橋方向へ、計画的に桜の植樹を進め、周辺住民の街への愛着を高めてほしい。 区長 今後、植栽場所を確保できた際、桜の植栽等、景観に配慮した整備を検討する。



無 海老澤 敬子

文武両道の可能性を追求する教育システムを

問 子どもたちの未来を見据え、区の新しい教育の柱として文武両道を掲げる教育プロジェクトを考えてほしいが、見解を伺う。 教育長 生徒が主体的に勉強や課外活動に取り組めるよう環境づくりを進め、「文武両道の精神」を大切にした中学校教育を行う。



宿泊療養施設の確保・抗体力ケル療法の検討を

問 他区のように区独自の療養施設の確保と、医師会と連携し抗体カクテル療法等の検討を要望するが、見解を伺う。 区長 抗体カクテル療法については適切に活用できるようにしていただく。 問 避難所のトイレの備えについて

まちづくりを推進する。 避難所のトイレの備えは衛生対策の要であり、数のみ目標に置くのではなく、質の高い快適なトイレの確保を目指すべきだが、考えを伺う。 区長 新たな施設整備の機会を捉え、マンホールトイレの設置を促進するなど、快適なトイレの確保を図っていく。

問 認知症とともにパートナー事業の課題は何か。また、その課題を認知症検診事業にどのように反映したか伺う。 区長 診断結果を受け入れられない等の理由で具体的支援につながらないケースがあることを改めて認識したため、区内訪問看護ステーションと課題解決に向けた取組を行う。



無 松平 雄一郎

経済活動再開の見通しと今後の施策について

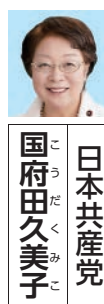
問 ワクチン2回接種を終えた区民の割合が、8割を達成する目途が立つ年末に向け、社会経済活動再開の見通しや具体的な方策を伺う。 区長 これまで実施している宅配支援等の事業に加え、11月からキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施し、区内経済の更なる活性化を図る。

問 町会・自治会と行政は思いやりの精神でより良い関係を追求する教育システムを。 町会・自治会と行政は同等の立場で役割分担し、思いやりの精神でより良い関係を保持したいが考えを伺う。 区長 町会・自治会活動の積極的な周知や加入促進、担い手の発掘に取り組む、地域コミュニティの活性化につなげていく。

問 植栽の一部を利用したベンチ設置等、道路内の休憩設備の整備計画を策定し、人にやさしい文の京のまちづくりを推進してほしいが、伺う。 区長 植樹帯の一部を利用したベンチの設置について検討する。区道を始め国道や都道道路に接する公共施設の管理者に対し、休憩設備の整備を働き掛けるなど人にやさしい

問 植栽の一部を利用したベンチ設置等、道路内の休憩設備の整備計画を策定し、人にやさしい文の京のまちづくりを推進してほしいが、伺う。 区長 植樹帯の一部を利用したベンチの設置について検討する。区道を始め国道や都道道路に接する公共施設の管理者に対し、休憩設備の整備を働き掛けるなど人にやさしい

速やかな住宅供給に有効な手段である。関係団体との協定等に基づき入居者の募集、選定、入居手続きを行う。



日本共産党 国田 久美子

「原則自宅療養」方針の撤回を国に求めよ

問 政府が示した「原則自宅療養」方針は、感染者を自宅に放置することに近いため、国に撤回と臨時医療施設の設定を求めるべき、伺う。 区長 国の方針等は、誰もが症状に応じて必要な医療を受けるための緊急対応であり撤回は求めない。病床確保は都の役割であり、要望していく。

無料PCR検査の大規模な実施を

問 「いつでも、だれでも、何度でも」の立場で無料PCR検査を大規模に行うべき。国に要望するとともに、区独自の取組を拡充する予算案とすることを求め、伺う。 区長 感染症の症状があり、検査が必要と医師が判断した方は、検査を受けることができる体制となっており、引き続き必要に応じて実施する。

問 学校・保護者間の連絡手段のデジタル化について。 学校・保護者間の連絡手段のデジタル化推進について、現状の課題と、今後どのような方針で進める予定か伺う。 教育長 デジタル化に馴染むものを適切に仕分けた上で、一人1台貸与したタブレットを欠席連絡などの伝達手段として活用できるように進める。

問 大規模災害時に行政が民間賃貸住宅を借り上げて供与する、「応急借上げ住宅」の活用方針と、被災者への提供方法について伺う。 区長 民間賃貸住宅の活用は、



大塚・千石・白山地域へのB1ぐる新路線の実現を

問 他地域と同様に、年齢を重ねても障害があっても、B1ぐるで行きたいところに行き、食べたいものが買え、会いたい人に会いに行く自由を最低限保障すべき、伺う。 区長 公共交通不便地域につ

いて、社会情勢や交通システムの進展等を踏まえ、コミュニティバスを含め、公共交通サービスを総合的に検討する。



日本共産党 関川 けさ子

元町公園は専門家の意見を仰ぎ文化財に

問 旧元町小学校北側、西側新築棟は、区民スペースを拡大し、体育館はいつでも使えるようにすること。また、元町公園は文化財保護審議会に設計図を示し、文化財に指定される改修にすべき、伺う。 区長 本計画は区が必要とする公共機能を満たしており、更に増やす予定はない。文化財登録については、必要な改修等を行った後、検討する。

学校・幼稚園での感染対策について

問 教室での空気感染を防止するため、4か所開けで常時換気を行うこと、全教室にCO2モニターを設置すること、区が子ども用の不織布マスクを用意し、使用を呼びかけることを求め、伺う。 教育長 教室の換気は可能な限り効率的に行う。CO2濃度測定器は活用を進める。マスクについては正しい使用方法を周知徹底する。

問 環状3号線の計画は1981年当時の区長が都知事に要望書を出すなど、議会、区民あげての反対の意思表示は現在も継続している。区長も同じ立場に立ち反対すべき。 区長 環状3号線は、区への影響も極めて大きい。区民の理解が得られる計画となるよう、強く都に申し入れている。

問 環状3号線の計画は1981年当時の区長が都知事に要望書を出すなど、議会、区民あげての反対の意思表示は現在も継続している。区長も同じ立場に立ち反対すべき。 区長 環状3号線は、区への影響も極めて大きい。区民の理解が得られる計画となるよう、強く都に申し入れている。

委員会活動

常任委員会

9月定例会議会の議会期間のほか、7月26日に総務区民・厚生・建設・文教委員会をそれぞれ開催しました。

総務区民

7月26日 報告事項2件
9月27・28日 報告事項10件
報告に対する主な意見等
令和3年度「文の京」総合戦略の進捗管理の実施結果が報告された。

厚生

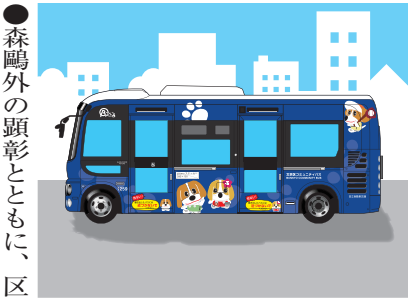
7月26日 報告事項2件
9月21日 報告事項4件
報告に対する主な意見等
子育て世帯応援事業は、国の特別定額給付金制度と都の出産応援事業の扶間となる方を支援する取組であり、高く評価する。育児用品等のカタログについては、同じ商品でも複数のメーカーから選べるようにするなど、品揃えを充実させること。

建設

7月26日 報告事項2件
9月24日 報告事項3件
報告に対する主な意見等
権利者へのアンケート実施結果等を含む「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」(案)について報告された。

文教

7月26日 報告事項1件
9月22日 報告事項3件
報告に対する主な意見等
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、2学期からの学校等の対応については、児童生徒の心のケアが課題となっている。教員はもとより、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが子どもたちの状況を注意深く見守り、早期に対応するとともに、子どもたちや保護者が相談しやすい環境づくりに努めること。



森鷗外の顕彰とともに、区

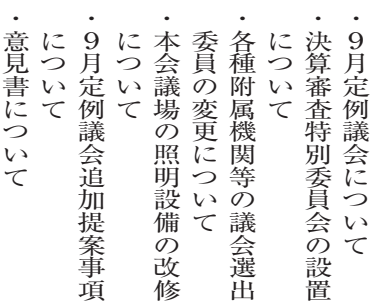
本郷・湯島ルートの起終点となる春日一丁目のバス停は、一般車両やタクシー等が頻繁に停車する場所と接近していることから、Bーぐるが時間調整のために停車する際は、安全対策の徹底を図っていくこと。



新型コロナウイルス感染症について、区の陽性者数等の現状と取組内容が報告された。第5波は沈静化しつつあるが、今回の経験をいかし、第6波



への備えを進めること。特に組織や職員の体制整備、自宅療養者への支援、ICTを活用した都との情報共有など、他自治体の事例も取り入れて対策を講ずること。
●ワクチン接種については、接種を希望するものの、様々な事情により予約ができていない方に必要な支援が届くよう取り組むこと。



また、タブレット端末を活用した学習については、教員の業務負担を軽減できるよう、ICT支援員等による支援を充実させること。
●文京区立小学校教室等増設計画については、小日向台町小学校は、5年先を見据えた教室不足の解消とともに、老朽校舎の改築も予定されていることから、今後の人口推計を注視し、中長期的な視点で検討を進めていくこと。

議会運営委員会

7月29日、9月3日・15日・30日、10月14日に開催しました。
主な協議事項については、次の通りです。
【主な協議事項】
・9月定例会議会提案事項について
・9月定例会議会追提案事項について
・決算審査特別委員会について
・各種附属機関等の議会選出委員の変更について
・本会議場の照明設備の改修について
・意見書について

委員会会議録 速報版をチェック!
会議録の「速報版」を、各委員会開催日から3週間程度で文京区議会ホームページに掲載しています。
文京区議会 速報版 検索

特別委員会

自治制度・地域振興調査

9月13日 報告事項4件
報告に対する主な意見等
●地方分権改革による権限移譲等への特別区の対応について報告を受けた。
権限移譲によって何が変ったのか、区民サービスへの影響等については、アンケート等により、その評価を検証すること。

災害対策調査

9月14日 報告事項3件
報告に対する主な意見等
●文京区地域防災計画における「男女双方の視点に配慮した避難所運営」については、避難所運営訓練時にチェックシートを活用して運営内容を確認するとともに、女性の参加者を増やすため、様々な機会への呼び掛けを行うこと。
また、内閣府の「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」の内容を始め、必要な知識の啓発に取り組むこと。
また、物資集積拠点の運営については、必要な物資が必要な場所につかりと届く体制を構築するとともに、全国から送られてくる様々な物資を適切に管理するための取組について調査・研究すること。

子ども・子育て支援調査

9月10日 報告事項3件
報告に対する主な意見等
●ベビーシッター利用料助成制度について、ベビーシッターの利用はハードルが高いと感じている方も多いことから、幅広い理由が対象になることを分かりやすく明記するなど、気軽に利用してもらえよう、周知に工夫を図ること。
また、子育て訪問支援券事業及び訪問型病児・病後児保育利用料助成制度との一体的な実施に向けて、各事業の利点を組み合わせることで、より一層の利便性向上を図ること。



高齢者等が、実際に店舗でキャッシュレスを利用するには、アナログな手法であるが、遠くからでも目を引くデザインでポスター等を掲示することが有用である。高齢者等がキャッシュレス決済を覚える良い機会になり得るため、実店舗が把握しやすい広報の取組を強化すること。
●自宅療養等により外出困難な区民の生活支援のため、商店街連合会と連携して区内商店による宅配事業を実施する。
同時期に、民間の別団体による買物代行の取組が開始されていることを受け、利用者が混乱しないように差別化を図り、取組の違いが明確に分かるように周知すること。



●本年10月、本郷二丁目認可保育所が開設された。保育園空白地域での開設に向けたこれまでの尽力を評価する。
今後は、近隣の商店街・大学との交流を深められるよう、支援していくこと。
●(仮称)中央大学若荷谷キャンパスにおける私立認可保育所の運営事業者が選定された。この保育園については、公共的な役割も期待されることから、地域との連携の在り方について、事業者と協議すること。
また、開設に当たっては、遊び場の確保が課題となることから、キャンパス内の敷地利用について、大学側に働き掛けていくこと。